

21st Century

新たなスポーツシーンの創造

特報

「神戸市総合型地域スポーツクラブ」設立準備委員会発足
多世代・多種目・多志向に対応したスポーツ環境の実現を!!

「神戸市総合型地域スポーツクラブ」の設立準備委員会が6月に発足し、21世紀型のスポーツ環境を神戸市に生み出そうという動きが本格的にスタートしました。様々な社会状況の変化に即応できる「クラブ」をぜひ設立したいものです。

今、時代はどんどん動いて、スポーツの場は与えられるものから自分で獲得するものになってきています。そこで、設立準備委員会では、町民の様々な希望に応えられるスポーツ環境を神戸市に創造しようと熱心に話し合いを行っています。



「総合型スポーツクラブ」設立準備委員会

◎ 設立準備委員会の発足!!

6月8日に「神戸市総合型地域スポーツクラブ（以下S・C）」の第1回設立準備委員会が開催されました。これは、神戸市が「S・C」の設立に向けて、本格的に動き出したことを意味しています。準備委員会のメンバーは、体育協会・スポーツ少年団・小中学校の各代表者との体育指導委員・教育委員会の関係者等で構成されています。

その後、何度も会議を重ね、現在は全体会だけでなく、4部会（スクール・事業企画・指導者・広報普及）に分かれての話し合いも行われています。各部会では「学校週5日制」「超高齢化社会の到来」「町民のスポーツ志向の高まり」等の社会状況を踏まえ、町民の様々なニーズに応えられるスポーツ環境を実現しようと、熱心な議論を繰り返しています。

◎ S・C育成モデル事業

設立準備委員会での話し合いと並行して、「S・C育成モデル事業」がスタートしました。具体的には、「親子ふれあいスポーツ教室」「親子ゴルフ教室」「エアロビクス教室」「ソフトエアロビクス教室」等がそれにあたります。どの教室も、受益者負担型の事業（＝受講料が必要）で、今後「S・C」の設立に向け、試験的に実施されているものばかりです。

これらの教室は、どれも現在開講中で、参加者の最終的な感想を聞くにはいたっていません。しかし、どの教室も多数の参加者が集まっています。また、今の段階では、各教室の内容についても参加者から、かなりの好評を得ています。これは、講師の先生方の努力もさることながら、受講料を払ってもそれ以上に十分満足の内容が参加者にサービスされているからではないでしょうか。



エアロビクス教室より



神戸市スポレク祭のフィナーレ

「S・C」は、メンバーシップ制の組織です。そして、非営利団体でもあります。だから、設立後は、会員に対して、そのニーズに対応した様々な教室やスクールが、格安の受講料で提供されることになります。中には、無料で提供されるものもあるでしょう。つまり、「S・C」は、あなたが会員になりさえすれば、あなたが求めるスポーツシーンを容易に実現してくれる組織なのです。

◎ 今後の動きはどうなるの?

「設立準備委員会」は、話し合いがある程度進んだところで、「拡大設立準備委員会」へと発展することになる予定です。その段階では、各スポーツ関係者や町民のみなさんに対して、かなり具体的な「S・C」構想をお伝えできると思っています。

よく、「S・C」の説明会の後で、多くの方から、「必要性は分かったが、具体的にはどうなるのか?」という質問を受けます。しかし、そのことを今、各関係団体と連携を取りながら設立準備委員会の中で検討しているわけです。21世紀の神戸市にふさわしい「スポーツ環境」はどうあるべきか?

また、そのために今神戸市でできることは何か? 町民のみなさんとともに、一生懸命考えていくべき課題だと考えています。

午前中、町民グランド(グラウンドゴルフ・ディスクゴルフ・ベタンク・ストラックアウト・リフティング)町民体育館1階(RDチャレンジ・ユニカール・ラージボール卓球)、2階(ソフトバレー・インディアカ・キンボール)中央公民館前(体力測定)の3会場を利用して、スタンプラリー形式でビンゴを目指して、軽く汗を流す程度の運動・からだにやさしい運動を楽しく体験してもらいました。

今年初めて行ったキンボールは、体験した人たちはとても楽しそうでした。「地区の行事で使ってみよう。少年団でやってみよう。小さい子どもにはこのボールを利用して別の遊びをやってみよう。」という声もありました。

フィナーレは、どんとこい祭りのステージにおいて「ロックソーラン」を披露して、スポレク祭を終えました。観客は、ロックソーランの迫力ある踊りに圧倒されていました。(河瀬)

体力測定会場

曇り空で少し肌寒い日となりましたが、小・中学生を中心に楽しく測定を行うことができました。中には自分の記録に納得できず、何回も挑戦する姿が印象的でした。記録の結果から、小・中学生の全国平均と比べてみると、からだの柔軟性が少し下まわっているように感じました。これから学校や神戸町のスポーツ活動に積極的に参加し、平均値より上回るような体をきたえてほしいと思います。(小寺)



ロックソーラン体験記

下野 泰央

僕とロックソーランの出会いは7月、一本の電話から始まった。それは、体指の石崎さんから「“ロックソーラン”というのをやってみない?」という内容。その時は、どんとこい祭りで踊ることすら知らずにチャレンジ精神だけで引き受けることにした。それ以来、毎週金曜日(本番近くは日曜日)練習に参加するようになった。初めて体験するロックソーランは「なんかよく分からんけど、すごい!」という印象を受けた。練習は、体の硬さと日頃の運動不足のせいもあって息切れと筋肉痛との間だった。今思えば、振りも一から覚えていったのだから、我ながらたいしたものだと思う。毎晩のようにビデオを見て研究していたのだから、上達していかないのも問題なのだが…。

最初は何気なく参加していた練習も、いつしか金曜日が来るのが楽しみになるくらいはまっていた。それはロックソーランに魅力があるのはもちろん、一緒に練習してきた仲間のおかげだといえよう。きつい練習の中にも笑いがあがり、初秋の涼しさを忘れるくらいの温かさで満ちていた。そんな空間が妙に居心地が良かった。そして、気が付けば衣装がそろい、10月になり前日になり…。3ヶ月弱という時間は瞬く間に過ぎていった。そして当日、心地よい緊張感に包まれながら3分半という瞬間を存分に堪能すべく晴れの舞台に立った。あっという間だった。仲間のひとりひとりが精一杯声をだし、舞った。舞台に立つ前の緊張はどこへ行ってしまったのか、わからないくらいに。そして不思議なほど気持ちが良かった。

ロックソーランと出会い、仲間と出会い3ヶ月。今でも金曜日になると「あ、練習」と思ってしまう。“それだけのもの”がここにはあった。ロックソーランは、どんとこい祭りで終わるわけではない。いや、そこから始まったのだ。今後も多くの仲間と“それだけのもの”を築いていきたい。心から思う。新たな感動を味わうために。



第5回バターゴルフ大会 6月10日開催

梅雨時のあいにくの空模様ではありましたが、西座倉バターゴルフ場で開催されました。参加者男性70名、女性10名が、日頃の練習の成果を存分に発揮し、笑顔とともに時には真剣な厳しいまなざしがとても印象的でした。来年はさらに工夫を凝らして大会を盛り上げたいと思います。楽しみにしてください。(吉田)

今回は趣向を変えて個人の部で優勝された高山誠一さん(74)にインタビューさせていただきました。



『私とバターゴルフ』

私は5年ほど前、69歳の春に糖尿病で約1ヶ月の入院生活を強いられました。入院中に糖尿病の合併症のため、足首から切断した人、目が見えなくなった人を見て病の恐ろしさをつくづく感じてきました。

退院時に医師から食事療法と運動療法を必ず実行するよう指示を受け、食事療法は家内の協力で行い、運動は毎日8,000歩程度歩くことを心がけて実行しておりましたところ、息子から軽スポーツでもあるバターゴルフを勧められ、平成9年6月ごろから始めました。当初は毎日ひとりで4・5回コースを回っていましたが、数日中に上新町の吉岡さんから多数の仲間にも恵まれました。それから、今日まで暑さ寒さに関係なく天気のよい日はほとんど毎日バターゴルフ場にて気持ちよく運動させていただいております。

私は他町村のバターゴルフ場も見ましたが、わが町のバターゴルフ場ほど花と緑に囲まれて、立派に整備されたコースは見られませんでした。町当局の関係のみなさん、竹中管理人さんの御努力の賜物と感謝しております。

これからも健康である限りバターゴルフを続けたいと思っております。

高山 誠一



第4回グラウンドゴルフ大会 9月9日開催

9月といってもまだ汗ばむ程の晴天の下、西座倉バターゴルフ大会が開催されました。80代2名を含む57名が参加。熱戦が繰り広げられました。

平均年齢70代という中、体力年齢は30代も顔負けのパワフルなプレーでした。



“トマリ”(ホールポストに入ること)になった時の思わず出るガッツポーズ/互いに拍手で健闘をたたえました。みなさん日頃の練習の成果を十分発揮されていたようでした。

体を動かし、笑い、喜び、ボールの動きにハラハラした時間はあっという間に過ぎていきました。参加者のみなさん、大変お疲れさまでした。来年もひとりでも多くの方が参加していただけるように大会を計画したいと思います。楽しみにしてください。(石崎)

優勝された若山年子さんにお話を聞きました。

「私は神戸町グラウンドゴルフ協会に入会させていただき、週3回の練習の成果で優勝させていただきました。大変うれしく思っています。今後もグラウンドゴルフに専念していきたいと思っています。」



総合型地域スポーツクラブ支援事業

“コーディネーター養成研修会”

10月20・21日、長良川スポーツプラザにおいて総合型地域スポーツクラブ支援事業“コーディネーター養成研修会”が開催されました。これはスポーツクラブの設立、運営の中核となる、コーディネーターを養成する目的の研修会です。参加者は私たち体指の他に学校の先生やスポ少関係、教育委員会の方々でした。

初日は富山県広域スポーツセンターの南木恵一先生、二日目は筑波大学助教授の柳沢和雄先生の講話と高富町の事例発表がありました。南木先生はスポーツクラブ育成におけるマーケティングという内容で、現状の把握と明確なビジョン、そして提供という3つの重要性について身近な例を取り入れ話されました。

柳沢先生は、スポーツクラブの作り方という内容で今の日本のスポーツ環境についての問題点と、5年10年先の未来を見据えたクラブ作りについて話されました。両先生とも現在スポーツクラブ立ち上げに実際に携わって見えることで、より現実的なお話が聞けました。

5年10年先の神戸町の未来を素晴らしい町にするために、より多くの人々がスポーツに親しむことのできる環境、地域住民の集える空間作りに少しでも手助けができるよう努力したいと思います。(山川)

注意!!50歳から腸内環境がガラッノとかわる… 悪玉菌が私たちに及ぼす有害作用



あなたの善玉菌を増やし悪玉菌を減らすことが生活習慣病を減らすカギ!!

そのためには何を!? →

たっぷりの野菜
を摂ること

便秘の改善
便色の改善

今の日本人は40年前の
1/3しか野菜を摂取していない

親子ふれあいスポーツ教室

小学生1・2年生と父母を対象に、「親子ふれあいスポーツ教室」を開催しています。簡単な運動を中心にゲームや道具を使って軽いスポーツを行い、他の学校の子どもや親と一緒に楽しく運動し、体を動かす楽しさを味わっています。

10月28日(日)親子ふれあい教室第6回目が北小学校にて開催されました。当日は、「木の中のうさぎ」「スカイクロス」「ボックスホッケー」など体育館をいっぱいに利用して多彩なプログラムが組まれ、10月ももう終わりだということにより汗を流せました。参加した子どもたちは、「とてもおもしろい遊びで学校の休み時間にやってみたい。」と、親さんは「普段子どもとこんな遊びはしたことがないので続けて参加したい」といった声が聞かれ、あっという間の一時間でした。

(五十川)



生涯スポーツに関する住民意識調査結果報告

平成13年2月「生涯スポーツに関する住民意識調査」を実施いたしました。調査対象は町内在住の18歳から75歳の男・女、2,000名を無作為抽出、郵送による配布し、942名から回答が得られました。

調査項目は次の通りです。

- ①生活・健康状態について
- ②運動やスポーツについて
- ③スポーツクラブや同好会(サークル)について
- ④各校区のスポーツ行事について
- ⑤これからの活動について

結果から、自分の運動不足を感じつつ、なかなかスポーツする機会と時間がないという方が多くみえました。また、日常的にスポーツ活動を行っている方は、仲間とのコミュニケーションの手段として活動を実施している方が多くみえました。

回答いただきましたみなさん、ご協力ありがとうございました。つきましては、報告書をまとめましたので、興味のある方は教育委員会社会体育係までお問い合わせください。

編集後記

スポレク祭での“ロックソーラン”を見ていただけましたか? 私自身反省するところはいっぱいありましたが、ステージに立ち踊り終了後の達成感、感動は言葉では言い表せないほどでした。

総合型地域スポーツクラブの準備に精一杯がんばっていきます。(〇)